

クリスマス礼拝説教要旨

2010年12月19日

赤江弘之牧師

『主の母マリヤの生涯に倣いたい・・・』

ルカ1：26～38

はじめに

誕生の時 ～マリヤの謙遜・信仰・思慮深さ

「私は主のはしためです。」 ルカ1：38

「・・・なんと幸いなことでしょう」 ルカ1：45

「心に納め」 ルカ2：19

老シメオンの預言 ルカ2：34、35

少年時代 ～マリヤの思慮深さ

「心に留め」 ルカ2：41～51

成人してから ～神の時、神の御子を信じるマリヤ

「時は満ちた」 マルコ1：14、15 (バプテスマのヨハネの死)

「人をやり、イエスを呼ばせた」 マルコ3：31～35

「女の方」 ヨハネ2：4

「あの方」 同2：5

「弟子たちはイエスを信じた」 同2：11、12

十字架の上で

「女の方」 ヨハネ19：23～27

昇天後

なぜか復活の記事にマリヤは登場しない

「祈っていた」 使徒1：14

むすび～従順

「あなたのおことばどおりこの身になりますように」 ルカ1：38

「いや、幸いなのは、神のことばを聞いてそれを守るひとたちです。」

ルカ11：27、28